

2022年度通年

開講年度	開催時	施設区分	対象区分	講義テーマ	講師	内容・特色	ZOOM対応
2022年	通年	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	おじいちゃん、おばあちゃんを救おう ～ 脳卒中 ～	林 浩嗣	脳卒中は、ある日、突然起こり、動けなくなったり、話せなくなったりする病気です。早く見つけて、病院に行けばなおります。おじいちゃん、おばあちゃんが、脳卒中になっているのかどうか、早くみつける方法、どうすればなおるか、どのようなリハビリをするかなどについて、わかりやすくお話しします。	可
2022年	通年	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	おじいちゃん、おばあちゃんを救おう ～ 動脈硬化 ～	林 浩嗣	動脈硬化は、何十年もかけて、身体の血管が硬くなる病気です。動脈硬化がすむと、頭、心臓、足の血管がつまり、いのちにかかります。早く見つけて、病院に行けばなおります。おじいちゃん、おばあちゃんが、動脈硬化になっているのかどうか、早くみつける方法、どうすればなおるかについて、わかりやすくお話しします。	可
2022年	通年	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	おじいちゃん、おばあちゃんを救おう ～ 認知症 ～	林 浩嗣	認知症は、年をとると、だんだん、日にちやしたことを思い出せなくなる病気です。早く見つけて、病院に行けば、ひどくならなくてすみます。おじいちゃん、おばあちゃんが、認知症になっているのかどうか、早くみつける方法、どうすればなおるか、などについて、わかりやすくお話しします。	可
2022年	通年	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	朝、おきられない、やるきがでない、元気がない、きみへ。食べ物をみなおしてみよう。	林 浩嗣	毎日食べているものによって、朝、おきられない、やるきがでない、元気がなくなるなんて、信じられますか？毎日食べているものを調べてみると、あるものを食べてないから、あるいは、食べすぎているから、おきられない、やるきがでない、元気がでないのかもしれないと気づきます。どんな食べもので、変わるか、わかりやすくお話しします。	可
2022年	通年	中学校 高校	学生	対象者の理解を深めるために	石田 圭二	人を理解するとき様々な視点・枠組が存在します。大きく分ければ理解をする側の視点・枠組と理解される側のものであり、時にはその理解内容は対立することもあります。医療者は医学的な視点・枠組が求められますが、それだけでは十分に対応に結びつくことができない場合が存在します。講座では人としての理解を進める方法について学生さんの臨床実習記録を基に対象者を理解する際の視点や枠組みに沿って整理を行い深めていきます。	可
2022年	通年	中学校 高校	学生	障がい乗り越える心理	石田 圭二	けがや病気にかかった時、現在の医療では完治させることが困難で「障がい」が残存することが多くあります。リハビリテーションは「人間にふさわしい権利、資格の回復を回復させる」という意味を持ち、その一翼を担う作業療法の臨床場面では「障がい」を乗り越えようとする人の営みに出会うことになります。講座では学生さんの臨床実習記録や患者手記を読み解くことで、その力強い心の動きの理解を深めていきます。	可
2022年	通年	高校	教職員	精神疾患の予防と回復について理解する	近田真美子	令和4 年度から開始される高等学校学習指導要領に「精神疾患の予防と回復」の項目が追加されることを受けて、教職員の方を対象に、精神看護学で教授する統合失調症と気分障害の予防と回復について看護の視点からお話します。	可

2022年度前期 4～9月

開講年度	開催時期	施設区分	対象区分	講義テーマ	講師	内容・特色	ZOOM対応
2022年	前半	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	いつまでも健康でいるために ～人生100歳時代のための体力を保ち強 くする方法～	藤縄 理	生活習慣病を予防し、骨を丈夫に、筋力・持久力、柔軟性を 維持・増強する方法を、実技を含めて紹介します。	可
2022年	前半	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	ケガを防止するために行う ストレッチング	東 伸英	ケガの発生には、筋肉・関節の疲労や柔軟性の低下、筋力 不足などといった様々な要因が関与しており、そのため筋力・柔軟性トレーニングが怪我のケアや予防に重要とされて います。そこでストレッチングを中心に自宅で行える運動を 紹介します。	可
2022年	前半	中学校 高校	学生	高次脳機能障害って何？	川端 香	病気や事故などで脳にダメージを受けると、集中力がなくな る、怒りっぽくなる、記憶が悪くなる、ミスが増えるなどの症 状が出現します。これは「高次脳機能障害」と呼ばれ、幼児 から高齢者まで、全ての年齢層で起こる可能性の高い障害 です。本人や周りが全く気付いていないことも多く「見えない 障害」とも呼ばれます。高次脳機能障害が起きる原因や、症 状と対処方法について、わかりやすくお話したいと思いま す。	可
2022年	前半	中学校 高校	学生	レクリエーションの活用と効果	下川 幸蔵	私たち作業療法士は「楽しむこと」も治療として活用します。 人と関わることに支障があったり、楽しむ機会がなかったり する方に対し、レクリエーションを利用した社会参加を促すな どの効果と活用について、作業療法の視点からお話しいた します。当日は、実際に簡単なレクリエーションも行いますの で、その効果を感じてください。	可
2022年	前半	未就学 小学校 中学校 高校	未就学児 学生 保護者 教職員	子どもの育ち～発達に合わせた遊びとお もちゃ～	西尾 桂子	昔と今では子どもを取り巻く環境が大きく変化してきていま す。こどもの健やかな育ちを促すために、生活の中でどのよ うな工夫や注意すればよいのかをお話します。また、子ども の発達に合わせた遊びやおもちゃや、手作りおもちゃのポイ ントも紹介します。	可
2022年	前半	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	人が食べるということはどういうことか ～ 美味しい、不味いはなぜ決まる？～	保屋野 健悟	私達は、生命を維持するために様々なものを口から摂取し ます。このように必要な栄養を摂取することは、私達が食べ ることの理由の一つです。しかし、私達が食べる理由はそれ だけではなく、「楽しみ」というものが含まれてくるといま す。人が食べる時に感じる美味しさや楽しさなどから、人が 「食べる」ということがどのようなことなのかをお話します。	可
2022年	前半	小学校 中学校 高校	教職員 保護者	褥瘡(とこずれ)およびスキントピア(皮膚が 破れたり、裂けてしまうこと)の予防から治 療まで	北川 敦子	褥瘡(とこずれ)やスキントピア(皮膚が破れたり、裂けてしま うこと)は特に高率に発生する高齢者にとって重要な問題で す。この問題を予防する方法、治療する方法について原理 を交えながらわかりやすくお話する授業です。明日からのケ アを学ぶ授業となります。対象に合わせた内容として分か りやすくお話しします。	可
2022年	前半	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	生きることってなあに	北川 敦子	様々な人々は辛くなったとき、「死」をはじめて意識するよ うになります。「死」と「生」は表裏一体のものであり、それは 「いのち」という言葉で表現されています。本講義では人間の 根本にある「いのち」と「生きる」について考え、明日から前 向きな人生を送るためのヒントを考える授業です。対象に合 わせた内容として分かりやすくお話しします。	可
2022年	前半	中学校 高校	保護者 教職員	更年期を明るく	小笹 幸子	これから更年期を迎える保護者(子どもの)、教職員の方を 対象に、人生の折り返し地点ともいえる更年期の身・心・社 会面の変化の特徴を学びます。老化の予防とQOLの維持・ 向上に向けての運動、食事、気持ち、身辺の対策、健康の 見直しについて、実際に即して共に考えてゆきたいと思いま す。	可
2022年	前半	小学校 中学校	①教職員 ②児童・生 徒	学級活動で取り組む 「こころげんキッズ学習」	五十嵐 利恵	「こころげんキッズ」は、子どもたちの心の力をつけるための コミュニケーション活動です。つらいとき・困っているときに、 そのことを伝えられること、さらに、自分や友だちのよいと ころに気づけること、人の話をちゃんと聞けることは、子ども たち同士の人間関係力アップにつながります。子どもたちの発 達段階や学級の状況を考慮し、実践内容を教職員と一緒に 考えていきます。 教職員の方との事前打ち合わせ後、必要に応じて、担任と ともに学級活動を支援いたします。	①可 ②不可
2022年	前半	小学校・中 学校・高校	学生・保護 者・教職員	杉田玄白になって体の「かたちとはたら き」について考えよう～あたま・脳編～	猪口 徳一	福井が誇る江戸時代の蘭学者、杉田玄白は解体新書をまと め、日本の医学の発展に貢献しました。参加者が杉田玄白 となって普段触れることのない体の内部について模型を使っ て調べます。そして、体の「かたちとはたらき」について一緒 に考えてみましょう。今回はあたま・脳編です。	不可
2022年	前半	未就学 小学校 中学校	教職員	見逃さないで！こども虐待	青井 利哉	子どもの虐待予防、発見、対応、再発防止のために何がで きるのか、私が経験してきた多くの例をもとに、具体的に解 説します。さらに、児童虐待が子どもの発達にどのような影 響を与えるのかについても考えます。	可
2022年	前半	小学校 中学校	学生 保護者 教職員	小中学生の食生活と栄養 ～健康管理と生活習慣予防は今から～	蔵屋敷美紀	小中学生の時期は、食習慣の形成期であり、生活習慣病予 防の一次予防の一環として、食に関する指導を十分に行う 必要がある。発育不全や肥満、感染症に対する抵抗力の低 下等が起こらないようにするためには、どのような事に注意 すればいいのか、年代に合わせて説明します。	可
2022年	前半	小学校高 学年	学生 (1クラス)	災害時子供にやさしい避難所を考えてみ ましょう	河原田 榮子	私は、看護師であり看護教員です。災害で被災した人々の 手助けについて研究しています。災害時には、避難所生活 が長期にわたることがあります。避難所生活をする上で特に 災害弱者である子どもは、ストレスによる心理的負担を強く 受けることがわかっています。子どもにとって優しい避難所と は、どのようなものかを仲間同士で考えてみましょう。	不可

2022年度後期 10月～3月

開講年度	開催時期	施設区分	対象区分	講義テーマ	講師	内容・特色	ZOOM対応
2022年	後半	中学校 高校	学生 保護者 教職員	脊髄損傷のリハビリテーション	佐々木 孝次	脊髄損傷は転倒や転落、交通事故、スポーツ外傷などが原因で脊髄神経が傷つくことで発生します。脊髄損傷の概要や予防、治療、リハビリテーション、障害受容、に加え、近年注目されている再生医療についてもお話します。	可
2022年	後半	未就学	保護者 教職員	子ども達の発達と遊び ～作業療法士の視点から～	菱輪 千帆	子ども達は、日々繰り返す遊びを通して様々な機能を発達させ、自分の体を理解し環境とうまく関わるができるようになっていきます。子ども達の遊びと発達の関係、うまく遊べない子どもの背景とその支援について、作業療法士の視点でお話します。	可
2022年	後半	中学校 高校	学生	人の生活を支える脳の仕組み ～ 人体の精巧なメカニズムとリハビリテーション ～	酒井 涼	ひとの日常は脳の複雑な仕組みによって成り立っています。日常生活において脳はどんな機能を持ち、どんな役割を果たしているのか？そして脳に障害が起きるとどのような問題に直面するのか、実際のリハビリテーション場面や最先端の医療と合わせて、わかりやすくご紹介いたします。	可
2022年	後半	高校	学生 教職員	呼吸と健康	堀 秀昭	上手な呼吸法について講義し、実際の方法について教えます。また、呼吸の仕組みはどうなっているの？上手な呼吸法を理解しよう。肺が病気になるとどうなるの？	可
2022年	後半	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	加齢と身体認知能力について	藤本 昭	加齢による身体認知能力がイバランス能力に与える影響について、また身体認知能力の指標とされる各種検査法について説明します。	可
2022年	後半	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	聞こえない・聞こえにくいってどんなこと？ ～知っているようで知らない聴覚障害～	岡本 一宏	赤ちゃんから高齢者まで、軽度難聴から重度難聴まで、聴覚障害による影響や支援の方法について、医療、福祉、教育などの様々な視点からお話します。手話や指文字、談話などのコミュニケーション手段や補聴器の取り扱いなども体験できます。	可
2022年	後半	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	身近な感染予防；できていますか？正しい手指衛生～感染防止の基本は手洗いから～	吉江 由加里	感染症は、ひとたび発生して拡大すれば個人の健康のみならず社会全体に深刻な影響を及ぼすおそれがあります。身近な感染症や、予防対策としての 手洗いの効果、マスクの効果等についてお話します。	可
2022年	後半	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	折れない心を育てる	北川 敦子	苦しくて自分を認められず、自分や相手を傷つける。どうしたら、たとえ苦しくても人を傷つけない、自分や相手を大切にすることができでしょうか。ただ単に、いのちの大切さを頭で理解するためのものではありません。私たち一人ひとりが、解決困難な苦しみを抱えたときに、具体的な行動として何ができるか、それぞれの立場で感じ、考える授業です。対象に合わせた内容として分かりやすくお話します。	可
2022年	後半	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	アドバンスド・スキんケア	北川 敦子	身体の外観を覆う最大の臓器、皮膚。この皮膚の整えが、身体的な影響だけではなく、心や社会生活に大きな影響をもたらします。本講義では、皮膚の解剖生理の基礎から、最新のスキんケア方法を実技を交えながら学びます（Zoomでの対応時は実技はできません）。スキんケアが、生活にどのような影響をもたらし、整えによって、何が変わるのか、について考えていきます。	原則、不可
2022年	後半	小学校 中学校	学生	認知症を知る	梅田尚子	高齢者の約4人に1人が認知症、またはその予備軍と言われています。これはさらに増加し、2025年には認知症の人が700万人になると推定されています。認知症は高齢者だけに限らず、64歳以下のものを若年性アルツハイマーといい、若ければ18歳から発症する可能性があります。全国で約10万人の患者がいるともいわれています。本講義では、認知症の症状や診断方法等を知ること、認知症患者の理解を深めていきたいと考えています。	可
2022年	後半	中学校 高校	学生	命の大切さとつながりを学ぶ	小笹 幸子	中学生・高校生の方を対象に、妊娠・出産の仕組み、妊孕性（妊娠しやすい）の変化や不妊治療、性感染症、また、命の誕生の喜びについて、モデル人形・DVD・PP等を用いて学びます。そして、思春期からの自己の健康管理の大切さについての連続性について考えていただく内容です。	可
2022年	後半	中学校 高校	学生	プレコンセプションケアってなに？ ～思春期からの健康なからだづくり～	北川 加奈子	「妊娠してからではなく、妊娠する前から健康なからだづくりを」と始まったのがプレコンセプションケアです。しかし、妊娠や性別にかかわらず「より健康に生きるために必要な知識と行動」という幅広い視点で捉えられるようになりました。今、そして将来の健康について一緒に考えていきたいと思います。	可
2022年	後半	中学生 高校生	学生	ユーモアとケア	近藤やよい	ユーモアは、一般的に対人関係のコミュニケーションスキルとして知られています。ユーモアのある人ってどういう人でしょうか？おもしろいことを言う人、笑わせてくれる人というイメージが強いのではないのでしょうか。ユーモアも多種類ありますが、ここでは、笑いやユーモアが医療の現場でどのように活用されているのかをお話します。（笑いを伴う体操も説明します）	可
2022年	後半	小学校・中学校・高校	学生・保護者・教職員	杉田玄白になって体の「かたちとはたらき」について考えよう～筋・骨格編～	猪口 徳一	福井が誇る江戸時代の蘭学者、杉田玄白は解体新書をまとめ、日本の医学の発展に貢献しました。参加者が杉田玄白となって普段触れることのない体の内部について模型を使って調べます。そして、体の「かたちとはたらき」について一緒に考えてみましょう。今回は筋・骨格編です。	不可